

平成 29 年 8 月 9 日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院心臓血管外科に、胸部大動脈瘤、急性大動脈解離で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第一講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「弓部全置換における両側腋窩動脈送血の有用性に関する後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

弓部全置換術における両側腋窩動脈送血の有用性に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第一講座 教授 西村好晴

3. 研究の目的

胸部大動脈瘤、急性大動脈解離に対する人工血管置換術後の脳梗塞は重要な合併症です。我々はそれを防止するために手術術式の工夫を行ってきました。今回その有効性につき検討を行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

胸部大動脈瘤、急性大動脈解離の患者さんで、平成 14 年 1 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日までの期間中に人工血管置換の手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、CT 画像、術前合併症、手術時間、術後合併症などに関する情報です。

(3) 方法

術後脳梗塞発症の原因を統計学的に検討する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. この研究で得られた情報を用いた二次利用研究について

本研究から得られた情報を利用した新たな研究が企画される場合があります。本学倫理委員会の承認を得て行います。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第一講座 担当医師 西村好晴

TEL:073-441-0615 FAX:073-446-4761

E-mail:surgery1@wakayama-med.ac.jp